

ひまひま データ
オフライン数字で遊ぶ
ボートレース

スピードクイーンメモリアル、初めての勝負駆けを迎え、注目ポイントをまとめました

浜名湖・第1回スピードクイーンメモリアルの選考期間は23年12月から始まり、今月30日が最終日となります。一般的に12月〜翌年11月の期間における最高タイムは「11月〜2月」に出ることが7割です。4〜9月はほとんど出ません。この11月は本当に大事な勝負駆けの期間です！

●現在のランキング

表1-1は「選手別」の各場ランキングです。単純に各場の最速タイムランキングにしてしまうと、最速タイムが同じで並んだ時の順位付けがわかりにくくなります。

「最も速いタイムが複数いた場合、①そのタイムを記録した回数上位、それも同じ場合②2番目に速いタイムの回数、…(略)、それでも同じ場合は上位着位数順」というランキングの付け方のようなので、選手個別の持ちタイムを速い方から順に10個くらい並べて1着〜6着回数をそれぞれ99から引いた数字を並べたものを準備します(これこそ意味不明かもしれませんが・笑)。

例えば表1-2になります。選手の1〜10番目のタイムを左から順に並べていますが、タイムがない順位は3・99・9を埋めています。この選手の持ちタイムを、文字列の小さい順に並べれば、「選手別」ランキングができあがります。

もしもこの後、清楚選手が蜂須選手と同じ1分47秒7を出したとしましょう。その場合、清楚選手の持ちタイムは「1・47・71・48・71・49・4」となります。一方、蜂須選手は「1・47・71・48・61・

49・5」とですから、2番目に速いタイムが速い蜂須選手が上位となります。

それぞれの選手の1番目のタイムだけでなく、選手の「2番目のタイム、3番目のタイム」なども大事な要素なのです。ただちよつと長すぎますので、表1-1は2番目のタイムまでを表示しています。

またこの持ちタイムは複数場の最速タイムを持っている選手の比較にも使えます。例えば浜田亜理沙選手は5場の最速タイムを持っています(表1-3)。

この比較も先ほどの要領で上位を決めるようです。たまたま同タイムがないのでこまでするほどのことはないのですが、浜田選手の1番目のタイムは尼崎で、尼崎の代表となりました。この場合、他の4場(蒲郡・宮島・津・平和島)はその次の選手が場の代表となります。

表1-1に戻ります。同様に守屋・遠藤・竹井選手も複数場で1位になっていますが、表1-3のように1番目の場だけの代表となります。それぞれの選手の2位以下の場は灰色にしました。場の代表で選出されたところは緑色にしています。16場の代表が緑色になりました。灰色になっているのは戸田や平和島や蒲郡など8場は、場別2位の選手が選出されるのですが、蒲郡・常滑などはすでに場の代表になっている渡邊優美・浜田亜理沙選手の名前があります。ここも灰色にしておきましょう。

場別3位や4位にもたくさんいますのでそれぞれ先に灰色にします。戸田や平和島など5場は場別2位の

選手がそのまま代表となります。蒲郡は2位がすでに下関1位として選出されている渡邊選手のため3位の高田ひかる選手が代表となります。常滑は2位も3位も他場で1位選出されているので4位の前田紗希選手が代表です。

このように2番目選手は青色としました。たまたまこの青色8人はそれぞれ別の選手でしたが、もし複数場で選出となったら3番目の選手を見つけてのことになるとは思いますが、今回は2番目までで、とりあえず全24場の代表が決まりました。

それを表2にまとめました。左側には表1-1からまとめた場代表、右側にはその場代表24名を除いた各場の次点選手を並べています。

●事故率オーバーは選出除外

さてここからが問題です。この表2の左側の場代表は、ひとまずの場代表です。守屋選手のようにGI除外期間中の選手や今後F休みで選出除外となる選手も発生してはくはず。このあたりで私の頭はパニックで、毎日更新のランキングを作れずにいます。

表2では、住之江の守屋選手がGI選出除外期間中で出場できません。竹井奈美選手は長欠中。まだF休み確定選手は出ていませんが、11月中に出てくるかもしれません。

さらにもう1つ、レディースCやレディースASなどでおなじみ「事故率条件」があります。どんな優先出場選手であっても事故率0・40以上は選出除外となります。

今後のあっせん状況から判断し

表1-1●スピードクイーンメモリアル、
「選手別」の各場ランキング 場別1位

場	1位場数	登番	場別1位	タイム
桐生	1	4819	蜂須 瑞生	1.47.7 1.48.6
戸田	2	4502	遠藤 エミ	1.47.5 1.48.7
江戸川	1	4893	渡邊真奈美	1.50.8 1.51.9
平和島	5	4546	浜田亜理沙	1.47.7 1.48.7
多摩川	2	4556	竹井 奈美	1.46.1 1.47.0
浜名湖	1	4123	細川 裕子	1.47.0 1.48.0
蒲郡	5	4546	浜田亜理沙	1.46.6 1.47.6
常滑	2	4556	竹井 奈美	1.47.6 1.49.1
津	5	4546	浜田亜理沙	1.47.4 1.48.3
三国	1	4050	田口 節子	1.46.7 1.47.1
琵琶湖	1	3900	香川 素子	1.46.4 1.46.8
住之江	3	4482	守屋 美穂	1.46.5 3.99.9
尼崎	5	4546	浜田亜理沙	1.46.4 1.47.3
鳴門	1	4961	西橋 奈未	1.45.2 1.46.7
丸亀	3	4482	守屋 美穂	1.47.1 1.48.1
児島	3	4482	守屋 美穂	1.46.6 1.47.1
宮島	5	4546	浜田亜理沙	1.47.3 1.48.8
徳山	1	5189	藤原 早菜	1.48.8 3.99.9
下関	1	4590	渡邊 優美	1.46.2 1.46.4
若松	1	5188	武井莉里佳	1.48.9 1.49.5
芦屋	1	5057	上田 紗奈	1.46.4 1.47.5
福岡	1	4456	鎌倉 涼	1.47.8 1.49.6
唐津	1	5205	刑部亜里紗	1.47.0 1.48.1
大村	2	4502	遠藤 エミ	1.47.4 1.50.6

色=1位で選出 色=他場の1位で選出済み
色=1位で選出済み 色=2番目で選出

場別2位

位場数	登番	場別1位	タイム
0	4738	清埜 翔子	1.48.7 1.49.4
0	4746	大豆生田蒼	1.47.7 1.48.4
0	4998	中村かなえ	1.51.8 1.55.1
0	4627	藤原 菜希	1.48.7 1.49.3
0	4190	長嶋 万記	1.46.3 1.47.1
0	4738	清埜 翔子	1.47.5 1.47.9
1	4590	渡邊 優美	1.46.9 1.47.5
5	4546	浜田亜理沙	1.47.9 1.48.7
1	4123	細川 裕子	1.47.6 1.48.0
1	5205	刑部亜里紗	1.46.9 1.48.4
1	5057	上田 紗奈	1.46.7 1.47.6
0	4208	三浦 永理	1.47.7 1.48.1
0	4900	中田 夕貴	1.46.8 1.47.1
0	5088	高憧 四季	1.45.3 1.47.3
0	4450	平高 奈菜	1.48.0 1.48.8
0	4938	小芦るり華	1.47.2 1.48.8
0	4499	滝川真由子	1.47.6 1.49.1
0	4738	清埜 翔子	1.49.0 1.49.7
0	4433	川野 芽唯	1.46.9 1.47.6
0	4183	宇野 弥生	1.49.0 1.50.1
0	4387	平山 智加	1.46.5 1.46.6
0	4433	川野 芽唯	1.48.0 1.49.3
1	5057	上田 紗奈	1.47.9 1.48.4
0	4878	西岡 育未	1.47.5 3.99.9

集計期間：2023/12/01 ~ 2024/10/28

表2●スピードクイーンメモリアル、
”ひとまず”の各場代表

場	登番	選手名
桐生	4819	蜂須 瑞生
戸田	4746	大豆生田蒼
江戸川	4893	渡邊真奈美
平和島	4627	藤原 菜希
多摩川	4556	竹井 奈美
浜名湖	4123	細川 裕子
蒲郡	4804	高田ひかる
常滑	4845	前田 紗希
津	4963	實森 美祐
三国	4050	田口 節子
琵琶湖	3900	香川 素子
住之江	4482	守屋 美穂
尼崎	4546	浜田亜理沙
鳴門	4961	西橋 奈未
丸亀	4450	平高 奈菜
児島	4938	小芦るり華
宮島	4499	滝川真由子
徳山	5189	藤原 早菜
下関	4590	渡邊 優美
若松	5188	武井莉里佳
芦屋	5057	上田 紗奈
福岡	4456	鎌倉 涼
唐津	5205	刑部亜里紗
大村	4502	遠藤 エミ

場代表の次点

登番	選手名
4738	清埜 翔子
4419	原 加央理
4998	中村かなえ
4738	清埜 翔子
4190	長嶋 万記
4738	清埜 翔子
4208	三浦 永理
4011	堀之内紀代子
4530	小野 生奈
4190	長嶋 万記
4738	清埜 翔子
4208	三浦 永理
4900	中田 夕貴
5088	高憧 四季
4642	松尾 夏海
4243	西村 歩
4501	樋口由加里
4738	清埜 翔子
4433	川野 芽唯
4183	宇野 弥生
4387	平山 智加
4433	川野 芽唯
4225	土屋 千明
4878	西岡 育未

表1-2●選手の持ちタイム例

桐生	4819	蜂須 瑞生	1.47.7 1.48.6 1.49.5 1.49.7 1.50.6 1.50.7 1.51.1 1.51.6 3.99.9 3.99.9 9.919791959299
桐生	4738	清埜 翔子	1.48.7 1.49.4 1.50.0 1.50.6 1.51.2 3.99.9 3.99.9 3.99.9 3.99.9 9.949597979595

表1-3●浜田亜理沙選手の最速5場の持ちタイム

1位	尼崎	4546	浜田亜理沙	1.46.4 1.47.3 1.47.4 1.47.6...
2位	蒲郡	4546	浜田亜理沙	1.46.6 1.47.6 1.48.6 1.49.1...
3位	宮島	4546	浜田亜理沙	1.47.3 1.48.8 1.49.2 1.49.2...
4位	津	4546	浜田亜理沙	1.47.4 1.48.3 1.48.6 1.49.0...
5位	平和島	4546	浜田亜理沙	1.47.7 1.48.7 1.52.9 3.99.9...

表3-1●96年以降、デビュー短期間GI出場

デビューから	登番	選手名	年月日	場	初出場GI	備考
0年9か月0日	3955	眞田 英二	1999/02/16	鳴	地区選	
1年1か月25日	4089	妹尾 忠幸	2002/01/15	津	新鋭王座	
1年2か月0日	3853	岩崎 正哉	1998/01/20	宮	新鋭王座	
1年2か月1日	5067	山田 真聖	2020/01/18	徳	周年	途中追加
1年2か月7日	3941	池田 浩二	1999/01/26	住	新鋭王座	

表3-2●96年以降、女子選手のデビュー短期間GI出場

デビューから	登番	選手名	年月日	場	初出場GI
1年8か月21日	4387	平山 智加	2008/02/09	丸	地区選
2年3か月16日	4050	田口 節子	2002/02/26	徳	レディースC
2年8か月15日	5205	刑部亜里紗	2024/08/07	福	レディースC

表3-3●78期以降の女子選手で、デビューから31日間で1着

デビュー何日目	登番	選手名	年月日	場	3周タイム
21日目	3900	香川 素子	1997/06/06	下	1.50.7
3日目	3943	三松 直美	1997/11/10	丸	1.45.7
24日目	4050	田口 節子	1999/12/03	児	1.47.2
3日目	4065	金田 幸子	2000/05/25	児	1.47.1
1日目	4289	落合 直子	2004/05/10	住	1.47.8
4日目	4289	落合 直子	2004/05/13	住	1.48.0
21日目	4289	落合 直子	2004/05/30	常	1.50.0
29日目	4347	魚谷 香織	2005/06/11	児	1.49.6
3日目	4387	平山 智加	2006/05/21	丸	1.50.6
6日目	4870	新田 有理	2015/05/11	宮	1.49.3
29日目	5317	長尾 萌加	2023/11/30	宮	1.50.8

●新人選手がいきなりGI出場!
135期新人選手が11月にデビューします。うち9人が女子選手ですが、2月GIデビューのチャンスです。出走回数不足(100走未満)でもB2級であっても、場の代表になれば優先出場選手として出場できます。ただし事故率オーバーやF休みは選出除外となります。1着の一撃の最速タイムでGI出場が決まるかもしれません。

96年以降、最速でGIに出場した選手を調べてみました(表3-1)。

最短はデビュー1期目でA級に上がった眞田英二選手で、デビュー9か月のGI地区選出場。近年では追加によりGI初出場する選手も出てきて上位にも入っています。

で、徳山代表の藤原早菜選手が事故率オーバーを回避できない状況。それぞれの選手が選出除外となれば、長嶋・三浦・清埜選手が場の代表に繰り上がります。たまたま3選手は重複しませんでした。たまたま3選手は重複しませんが、もしも重複した場合、さらにその次ということになるのでしょうか。

ちなみに「場代表の次点」の5場に清埜翔子選手の名前があります。次点も重複ということはありえそうです。場代表の次点として津は小野選手、びわこは清埜選手を挙げましたがそれぞれ場の選手別7位のタイムなのです(単純にタイム順では小野選手は津の9位タイ、清埜選手はびわこの11位のタイムです)。場別の結構後ろの順位まで準備しておかないと名簿が足りないことになってしまいかもかもしれません。

でも女子選手が出てきません。女子のみのランキングも作成しました(表3-2)。

1位は平山智加選手(1年8か月)。デビュー2年以内というのは平山選手しかいません。そう考えると、平山選手に並ぶだけでも珍しいことといえそうです。

132期の女子選手がGI初出場すれば、1年8〜9か月での出場となります。132期以降は登番5284以降で、女子選手は35人もいます!!

ただ、この35人の通算1着回数合計は15回です。

そうですね、そもそもデビューしてすぐの11月や5月に1着を挙げた女子選手はいるのでしょうか? その一番の問題でしょう。調べてみました(表3-3)。

5月1日や11月1日にデビューできるとは限らないので、一応デビューから31日間で1着を挙げたケースです。78期以降の女子選手は289人デビューしましたが、この間で1着を挙げたケースはわずか11件(8人)しかありません(そのうち3件は落合直子選手です)。

そして私はそのことに気が付いていなかったのですが、一番下の11件目を見てください。去年11月30日の長尾萌加選手の初1着は女子では非常に珍しいケースだったのです。しかもですよ、まだ存在しない架空のSQMの選考期間最終日である11月30日、さらにはそれがわずか1年前のこと。夢がありまくりではないでしょうか!!

選考期間最終日に新人女子選手が1着を挙げるといことが絶対ないとは言えないこと示してくれています。